

平成30年11月20日

東北地方整備局

第3回 東北生態系ネットワーク推進協議会を開催します

- 東北生態系ネットワーク推進協議会では、多様な主体が連携・協働のもと、大型水鳥類等の生きものをシンボルとした水辺の保全・再生の取組みを推進し、良好な水辺を活かした流域の魅力向上、地域の活性化につなげていくため、生態系ネットワークの検討を進めています。
- 東北生態系ネットワークの形成による東北の魅力向上を図るための推進基本計画の策定や流域における取組みの推進に向け、「第3回東北生態系ネットワーク推進協議会」を下記のとおり開催します。

1. 日 時 平成30年11月26日（月）15：30～17：00
（開場15：00）

2. 会 場 TKPガーデンシティ仙台 ホール30B ※詳細は別紙-1参照
（宮城県仙台市中央1-3-1 AER（アエル）30階）

3. 議 事 （1）東北生態系ネットワーク推進基本計画（案）について
（2）他地域の取組状況について
（3）流域における取組みの推進体制について
（4）その他

4. 取材について

報道関係者の席を用意しております。なお、カメラ撮りは会議の冒頭のみ（議題に入るまで）とさせていただきますので議事進行等にご協力をお願いいたします。

5. 一般傍聴について

一般の方の傍聴席を用意しておりますが、会場の都合上、先着15名を定員とさせていただきます。

<発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、秋田県政記者会、山形県政記者クラブ、福島県政記者クラブ>

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局

河川部 河川環境課 課 長 白戸 孝（内線 3651）
建設専門官 木村 晃（内線 3652）

電話：(代)022-225-2171 F A X：022-215-3754

第3回 東北生態系ネットワーク 推進協議会 会場位置図

別紙—1

会場:TKPガーデンシティ仙台(ホール30B)

〒980-6130 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER(アエル)30階
仙台駅西口より協議会場まで徒歩約2分



ホール30Bへは、AER内エントランスを直進後、エレベーターで30階までお越しください。

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図
(タイル)を複製したものである。(承認番号 平30東複、第23号)

東北生態系ネットワーク推進協議会 設立趣旨

東北には個性に富む 12 水系の一級河川が流れ、その流域の多くの湖沼やため池などの水辺は、東北でなじみのあるガン類やハクチョウ類など、広域の水辺を行き来する大型水鳥類の中継地や越冬地等となっており、中にはラムサール条約湿地に登録された国際的に重要な地域も含まれているなど、豊かな自然環境が維持されています。

その一方で、国内最大のガン類の越冬地を形成している宮城県の北部地域等では、飛来した個体が過密状態にあることによる問題も懸念されています。さらに、より広域の生態系ネットワーク形成の視点からは、東北への飛来が近年相次いでいるコウノトリが安定して生息できる環境整備や、タンチョウの生息地分散行動計画に基づく東北への越冬地の拡大なども課題となっています。また、東北の宝とも言えるこれらの生きものや豊かな自然環境は、身近で当たり前の存在としてその価値や魅力を地域内外に十分に発信できていない面もあります。

こうした課題への対応には、広域の視点が重要であり、その推進力となる様々な主体による広域連携・協働が欠かせません。近年、国土形成計画等の行政計画に基づき、持続可能な国土形成に資する取組みとして生態系ネットワークの推進が掲げられ、生態系の広域的なつながりを示す大型水鳥類等を指標とした水辺環境の保全・再生や、その成果を活かした観光や農業等の地域振興の取組みが、全国各地で多様な主体の連携により進められています。

東北は全国規模の生態系ネットワーク形成の視点からも重要な役割を担うことから、今回、行政区域や分野を超えて多様な主体が広域で連携・協働する場として『東北生態系ネットワーク推進協議会』を設立し、東北全域を対象とした生態系ネットワーク形成に取り組むことといたしました。多くの人々の共感を得るための取組みのシンボルとしては、東北の自然の豊かさを象徴する大型水鳥類等の生きものを掲げ、河川を基軸とした豊かで健全な生態系による自然の恵みや価値に気づき、観光資源等として地域振興に持続的に活用することで、東北が潜在的に有する魅力の再発見やブランド力の向上を図っていきます。

平成 29 年 12 月 14 日

東北生態系ネットワーク推進協議会 委員名簿

(順不同・敬称略)

| | 氏名 | 所属・役職 |
|----------|--------|----------------------------|
| 有識者 | 東 信行 | 弘前大学 農学生命科学部 教授 |
| | 呉地 正行 | 日本雁を保護する会 会長 |
| | 佐々木 幹夫 | 八戸工業大学大学院 工学研究科 教授 |
| | 平山 健一 | 岩手大学名誉教授 |
| | 宮原 育子 | 宮城学院女子大学 現代ビジネス学部長 |
| 連携自治体首長 | 福島 弘芳 | 青森県つがる市 市長 |
| | 伊藤 康志 | 宮城県大崎市 市長 |
| 関係機関、企業等 | 渥美 雅裕 | 一般社団法人 東北地域づくり協会 理事長 |
| | 小野 晋 | 一般社団法人 東北経済連合会 常務理事 |
| | 久保 達也 | 一般社団法人 日本自動車連盟 東北本部 会員部 部長 |
| | 紺野 純一 | 一般社団法人 東北観光推進機構 専務理事 推進本部長 |
| | 今野 俊宏 | 株式会社 河北新報社 編集局長 |
| 関係行政機関 | 高居 和弘 | 農林水産省 東北農政局 農村振興部 部長 |
| | 小澤 晴司 | 環境省 東北地方環境事務所 所長 |
| | 高村 裕平 | 国土交通省 東北地方整備局 河川部 部長 |